

■ 第 22 回東京大学社会科学研究所国際シンポジウム
「社会的排除とジェンダー：日独型レジームと北欧型レジーム」

かつてなく突然に大規模に、人々が仕事や住居、医療や教育を受ける機会などを奪われ、途方にくれるなかで、2009 年が明けました。

「社会的排除」が覆いようもなく露わになったのです。本シンポジウムは、ジェンダー視点とレジーム・アプローチをつうじて、日本、ドイツ、スウェーデンを主な対象に、社会的排除の実相に迫ります。

日時：2009 年 2 月 28 日（土）10 時 30 分～16 時 30 分

場所：東京大学本郷構内福武ラーニングシアター

定員 150 名 （一般参加歓迎）参加費無料／日英同時通訳つき

参加申込：

右ホームページ内の申込フォームより <http://www.prime-intl.co.jp/gcoe/>

お問合せ：gcoe@prime-intl.co.jp

*シンポジウム閉会后、レセプションを行います（レセプション参加費 1000 円）

◇協力◇

東北大学 GCOE プログラム「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」

科学研究費補助金 基盤（A）「生活保障システムの比較ジェンダー分析」

（代表者：大沢真理）

科学研究費補助金 基盤（A）「脱「日独型レジーム」の比較政治分析」（代

表者：宮本太郎）

プログラム

10:30 挨拶と趣旨

小森田秋夫（東京大学社会科学研究所所長）

辻村みよ子（東北大学大学院法学研究科教授・グローバル COE 拠点リーダー）

大沢真理（東京大学社会科学研究所教授・グローバル COE 連携拠点リーダー）

10:45 報告

大沢真理（東京大学社会科学研究所教授）

「社会の再生産の危機へ：逆機能する日本の生活保障システム」

宮本太郎（北海道大学大学院法学研究科教授）

「男性雇用志向型レジームの終焉」

マルガリータ・エステベス・アベ（ハーバード大学政治学部准教授）

「選挙制度と日本の福祉国家の将来」

*****昼食（12:15-13:15）*****

13:15 報告

カリン・ゴットシャル（ブレーメン大学社会政策研究センター教授）

カレン・シャイア（デュースブルグ大学比較社会学・日本社会学科教授）

「多様な資本主義」におけるジェンダーと技能形成」

白波瀬佐和子（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

「晩婚化と所得不平等に関するジェンダー格差の比較分析」

*****休憩（14:15-14:30）*****

14:30 コメント

武川正吾（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

ハイディ・ゴットフリート（ウエイン州立大学都市・労働問題学科教授）

*****休憩 (15:10-15:20) *****

15:20 自由討議

16:30 閉会

司会:高松香奈 (東京大学社会科学研究所特任助教・GCOE フェロー)

金井郁 (東京大学社会科学研究所特任研究員)